

# 実績報告書

年月日

大分県知事

殿

住所  
氏名  
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

年月日付け認定番号第 号で認定を受けた合理化計画に係る第 年度  
(計画期間 年月日 ~ 年月日)の事業実績につき、下記のとおり報告します。

## 1 事業経営改善合理化資金関係

資金名		事業量			事業費	木材産業等高度化推進資金 認定額(実績欄においては 借入額)
		地域材	左記以外	計		
合理化 計画 おける 計画	素材生産	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	千円	千円
	間伐材等 素材生産	( )	( )	( )		
	素材引取	( )	-	( )		
	間伐材等 素材引取	( )	( )	( )		
	素材転換	( )	( )	( )		
	製品引取	( )	-	( )		
	間伐材等 製品引取	( )	( )	( )		
	計 A	( )	( )	( )		
	製品生産	( )	-	( )		
	間伐材等 製品生産	( )	( )	( )		
本年度 の 合理化 計画 に 対 する 実績	素材生産	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	千円	千円
	間伐材等 素材生産	( )	( )	( )		
	素材引取	( )	-	( )		
	間伐材等 素材引取	( )	( )	( )		
	素材転換	( )	( )	( )		
	製品引取	( )	-	( )		
	間伐材等 製品引取	( )	( )	( )		
	計 B	( )	( )	( )		
	製品生産	( )	-	( )		
	間伐材等 製品生産	( )	( )	( )		
計画対実績の割合 B/A		( ) %	( ) %	( ) %	( ) %	( ) %

(注) 1 合理化計画における計画の欄について(1) 事業量については、

合理化計画書の事業計画から該当数値の素材換算したものを記入する。

素材引取の( )は、JAS認証業者等のJAS製品生産量を合理化計画書の事業計画から該当数値を転記する。

単独融資に係るものである場合、素材引取、素材転換及び製品引取の( )は、需要開発に係る認定者にあつては、その生産計画量を、製材の日本農林規格(構造用製材に限る)に係る認定者にあつては、JAS製品生産計画量を合理化計画書の事業計画から該当数値を転記する。

間伐材等素材生産引取については、間伐材等の素材及び製品の加工に要した経費を記入する。

(2) 事業費については、合理化計画書の資金計画の計画事業量と単位当たりの事業費を乗じて該当資金ごとに算出したものを記入する。

(3) 木材産業等高度化推進資金認定額は、合理化計画書の資金調達額の木材産業等高度化推進資金額を転記する。

2 本年度の合理化計画に対する実績の欄については、

合理化計画に掲げた事業の実績の素材換算数値を記入する。

素材引取及び素材転換及び間伐材等素材引取の( )は、JAS認証業者等のJAS製品生産量を記入する。

単独融資に係るものである場合、素材引取、素材転換及び製品引取の( )は、需要開発に係る認定者にあつては、その生産量を、製材の日本農林規格(構造用製材に係るものに限る)に係る認定者にあつては、JAS製品生産量を記入する。

(2) 事業費については、

素材生産については、立木購入代金、素材生産を行うための作業道の開設又は改良に必要な費用、作業現場から最終土場までの素材生産実施費用としての集運材のための機械・施設の使用料又は作業労賃の総額を記入する。

素材引取、素材転換及び製品引取については、地域材に係る素材又は製材品の引取金額を記入する。

間伐材等素材生産については、間伐材等に係る立木購入代金、素材生産を行うための作業道の開設又は改良に必要な費用、作業現場から最終土場までの素材生産実施費用としての集運材のための機械・施設の使用料又は作業労賃の総額を記入する。

間伐材等素材引取、間伐材等製品引取については、間伐材等の素材又は間伐材等に係る製材品の引取金額を記入する。

(3) 借入額については、ピ-ク時の借入額を記入する。

3 計画対実績の割合は、百分率(小数点以下1位を四捨五入し単位止めとする。)で表す。

## 2 木材高度加工資金関係

### (1) 立木等引取、素材生産に係る資金関係

項 目	事 業 量			事 業 費	木材産業等高度化推進資金 認定額(実績欄においては 借入額)	
	地域材	左記以外	計			
合理化 計画に おける 計 画	立木引取	( ) m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	( ) m <sup>3</sup>	千円	千円
	素材生産	( )	( )	( )		
	素材引取	( )	( )	( )		
	製品引取	( )	( )	( )		
	計 A	( )	( )	( )		
本年度の 合理化 計画に 対する 実績	立木引取	( )	-	( )		
	素材生産	( )	( )	( )		
	素材引取	( )	( )	( )		
	製品引取	( )	( )	( )		
	計 B	( )	( )	( )		
計画対実績の割合 B / A (素材換算値)	( ) %	( ) %	( ) %	( ) %	( ) %	

(注) 1 合理化計画における計画の欄について

(1) 事業量については、合理化計画書の事業計画から該当数値の素材換算したものを記入する。

(2) 事業費については、合理化計画書の資金計画の計画事業量と単位当たりの事業費を乗じて該当資金ごとに算出したものを記入する。

(3) 木材産業等高度化推進資金認定額は、合理化計画書の資金調達額の木材産業等高度化推進資金額を転記する。

2 本年度の合理化計画に対する実績の欄について

(1) 事業量については、合理化計画に掲げた事業の実績の素材換算数値を記入する。

(2) 事業費については、立木引取は立木購入代金等を、素材引取、製品引取は地域材に係る素材又は製材品の購入代金等を記入する。

(3) 借入額については、ピ-ク時の借入額を記入する。

3 計画対実績の割合は、百分率(小数点以下1位を四捨五入し単位止めとする。)で表す。

### (2) 木材加工に係る資金関係

項 目	事 業 量		事 業 費	木材産業等高度化推進資金認定 額(実績欄においては借入額)
		m <sup>3</sup>		
合理化計画 における 計 画	素材の消費量	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
	製材品の消費量			
	計 A			
本年度の 合理化 計画に 対する 実績	素材の消費量			
	製品の消費量			
	計 B			
計画対実績の割合 B / A		%	%	%

(注) 1 合理化計画における計画の欄について

(1) 事業量については、合理化計画書の事業計画から該当数値を記入する。

(2) 事業費については、合理化計画書の資金計画の計画消費量と単位当たりの事業費を乗じて該当資金ごとに算出したものを記入する。

(3) 木材産業等高度化推進資金認定額は、合理化計画書の資金調達額の木材産業等高度化推進資金額を転記する。

2 本年度の合理化計画に対する実績の欄について

(1) 事業量については、合理化計画に掲げた事業の実績の素材換算数値を記入する。

(2) 事業費については、素材・製材品の消費に要した経費を記入する。

(3) 借入額については、ピ-ク時の借入額を記入する。

3 計画対実績の割合は、百分率(小数点以下1位を四捨五入し単位止めとする。)で表す。

### 3 構造改善合理化推進資金

#### (1) チップ等安定供給資金、木材高度加工資金、原木確保協定促進資金（立木等引取、素材生産に係る資金）関係

資金名		事業量			事業費	木材産業等高度化推進資金認定額（実績欄においては借入額）
項目		地域材	左記以外	計		
合理化計画における計画	立木引取	( ) m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	( ) m <sup>3</sup>	千円	千円
	素材生産	( )	( )	( )		
	素材引取	( )	( )	( )		
	製品引取	( )	( )	( )		
	計 A	( )	( )	( )		
本年度の合理化計画に対する実績	立木引取	( )	-	( )		
	素材生産	( )	( )	( )		
	素材引取	( )	-	( )		
	製品引取	( )	( )	( )		
	計 B	( )	( )	( )		
計画対実績の割合 B/A（素材換算値）		( ) %	( ) %	( ) %	%	%

(注) 1 合理化計画における計画の欄について

- (1) 事業量については、合理化計画書の事業計画から該当数値の素材換算したものを記入する。
  - (2) 事業費については、合理化計画書の資金計画の計画事業量と単位当たりの事業費を乗じて該当資金ごとに算出したものを記入する。
  - (3) 木材産業等高度化推進資金認定額は、合理化計画書の資金調達額の木材産業等高度化推進資金額を転記する。
- 2 本年度の合理化計画に対する実績の欄について
- (1) 事業量については、合理化計画に掲げた事業の実績の素材換算数値を記入する。
  - (2) 事業費については、立木引取は立木購入代金等を、素材引取、製品引取は地域材に係る素材又は製材品の購入代金等を記入する。
  - (3) 借入額については、ピ-ク時の借入額を記入する。
- 3 計画対実績の割合は、百分率（小数点以下1位を四捨五入し単位止めとする。）で表す。

#### (2) 木材高度加工資金、原木確保協定資金（木材加工に係る資金）関係

資金名		事業量	事業費	木材産業等高度化推進資金認定額（実績欄においては借入額）
合理化計画における計画	素材の消費量	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
	製材品の消費量			
	計 A			
本年度の合理化計画に対する実績	素材の消費量			
	製品の消費量			
	計 B			
計画対実績の割合 B/A		%	%	%

(注) 1 合理化計画における計画の欄について

- (1) 事業量については、合理化計画書の事業計画から該当数値を記入する。
  - (2) 事業費については、合理化計画書の資金計画の計画消費量と単位当たりの事業費を乗じて該当資金ごとに算出したものを記入する。
  - (3) 木材産業等高度化推進資金認定額は、合理化計画書の資金調達額の木材産業等高度化推進資金額を転記する。
- 2 本年度の合理化計画に対する実績の欄について
- (1) 事業量については、合理化計画に掲げた事業の実績の素材換算数値を記入する。
  - (2) 事業費については、素材・製材品の消費に要した経費を記入する。
  - (3) 借入額については、ピ-ク時の借入額を記入する。
- 3 計画対実績の割合は、百分率（小数点以下1位を四捨五入し単位止めとする。）で表す。